

OOHARA DENSEN

Extension Cord Series
Autumn 2025
ONLINE STORE OPEN



Photo by Studio Xxingham K.K.

東大阪市で50年以上にわたり電線製造を手掛ける老舗の町工場

大原電線株式会社による延長コードが誕生しました。

デザインを手がけたのは、鈴木 元。

本体からコードまで単一素材で作られた、シンプルで機能的な延長コードは、
電極と本体が一体成型されていているため、丈夫で、しっとりと柔らかく扱いやすく、

高電圧にも対応できるコードが特徴です。

2025年秋より、3種のラインアップで展開します。



Photo by Studio Xxingham K.K.

大原電線株式会社は、東大阪市で50年以上にわたり電線製造を手掛ける老舗の町工場です。近年は安い電線を海外から輸入する企業が増え、かつて東大阪に多く存在した電線工場も、現在では数社のみとなっています。私たちが作る電線は、高い品質と小ロットに対応できる柔軟さで業界からの信頼が厚く、大手メーカーの電気製品や最新の設備を備えた建築など、華やかな場所の裏側で寡黙に社会を支えています。東大阪で生産されるこの高品質な電線を一般の家庭でも使えるようにと、延長コードを作ることにチャレンジしました。

クロスタイプとストレートタイプ、防雨タイプの3種の延長コードは、どのデザインも機能に対してまっすぐで、無駄なディテールがありません。高い電圧にも対応できる高品質なためのVCTケーブルを用いて、しっかりと柔らかく扱いやすいコードを目指しました。電極と本体を一体成型し、本体からコードまで単一の素材で作られたデザインは、家庭や店舗、建設現場やアウトドアなど、さまざまな場面で活用いただけます。

電線は社会を支える大切なインフラですが、同時にとても匿名的な存在でもあります。東大阪の大原電線を訪れ、大原さん親子の職人氣質のこだわりや、新しいことに挑戦するオープンな姿勢、温かい人柄に触れ、すっかりファンになってしまいました。この工場で生産される電線は、他の工場で作られるものとはどこか違うように感じます。作り手の思いが匿名的な量産品にもオーラのようなものを与えるのかもしれませんが、工場に流れる空気や、大原さんの実直さ、温かさを、そのまま形にしたいと思いました。

- 鈴木 元(プロダクトデザイナー) -

2021年 GOOD DESIGN AWARD ベスト100 受賞

[Online Store]

公式販売サイト: <https://ooharadensen.shop/>

2025年11月下旬販売開始

HIGASHIOSAKA FACTORIES:

<https://ho-factories.com/>



Photo by Studio Xxingham K.K.

[Product Outline]



Straight - ストレートタイプ

長さ: 0.5/1/2/3/5/10/20m ※カスタム可

外寸: ソケット W30xD80xH25mm

プラグ W26xD50xH18

ケーブル φ9mm

コンセント数: 3

使用場所: 屋内

電圧: 125V

材質: 銅、黄銅、塩化ビニル



Cross - クロスタイプ

長さ: 0.5/1/2/3/5/10/20m ※カスタム可

外寸: ソケット W60xD60xH26mm

プラグ W26xD50xH18

ケーブル φ9mm

コンセント数: 3

使用場所: 屋内

電圧: 125V

材質: 銅、黄銅、塩化ビニル



Waterproof - 防雨タイプ

長さ: 0.5/1/2/3/5/10/20m ※カスタム可

外寸: ソケット W43xD42xH43mm

プラグ W37xD52xH37

ケーブル φ9mm

コンセント数: 1

使用場所: 屋内

電圧: 125V

材質: 銅、黄銅、塩化ビニル

※仕様は今後予告なく変更される可能性があります。

※本製品は国内専用のため、海外では使用できません。

[Profile]

大原電線株式会社

1958年創業。現代の生活の中で欠かすことのできない「ビニルコード(=電線)」の製造を専門に行う。電線と言っていってもその実は深く、ある技術においては20年の歳月を費やし完成したという特殊なものも扱う。無彩色の円型断面のものが主流ではあるが、大原電線ではあらゆる色彩、太さ、断面形状の電線を小ロットから製造可能。また金属線だけでなく繊維を用いた線材を作ることも可能であり、常に電線の新たな可能性を追求し続けている。 <http://oharadensen.com/>

鈴木 元 / デザイナー GEN SUZUKI STUDIO代表

1975年生まれ。GEN SUZUKI STUDIO代表。英ロイヤル・カレッジ・オブ・アート修了。パナソニック株式会社、IDEOロンドン、ボストンオフィスを経てGEN SUZUKI STUDIOを設立。スタジオを自宅に併設し、生活とデザインを隔てないアプローチで、Herman Miller、MUJI、E&Yなど国内外の企業と協業している。GERMAN DESIGN AWARD金賞、IDEA賞金賞、クーパー・ヒューイット国立デザイン美術館永久収蔵など受賞多数。2023年D&AD賞プロダクト部門審査委員長。

岡本 健 / アートディレクション 岡本健デザイン事務所 代表

1983年、群馬県太田市生まれ。千葉大学文学部行動科学科にて心理学を専攻、研究の一環で調べたグラフィックデザインに興味を持ち、方向転換。卒業後、数社のデザイン事務所にて実務経験を積み、株式会社ヴォル、株式会社佐藤卓デザイン事務所を経て2013年に独立。2016年～2019年 多摩美術大学統合デザイン学科非常勤講師、2019年よりグッドデザイン賞審査員を兼務。



Photo by Goichi Kondo

本件に関するご質問、取材やお写真のお貸出し、掲載等に関するお問い合わせは下記までご連絡下さい。 [HOW INC.] 03-5414-6405 / pressrelease@how-pr.co.jp

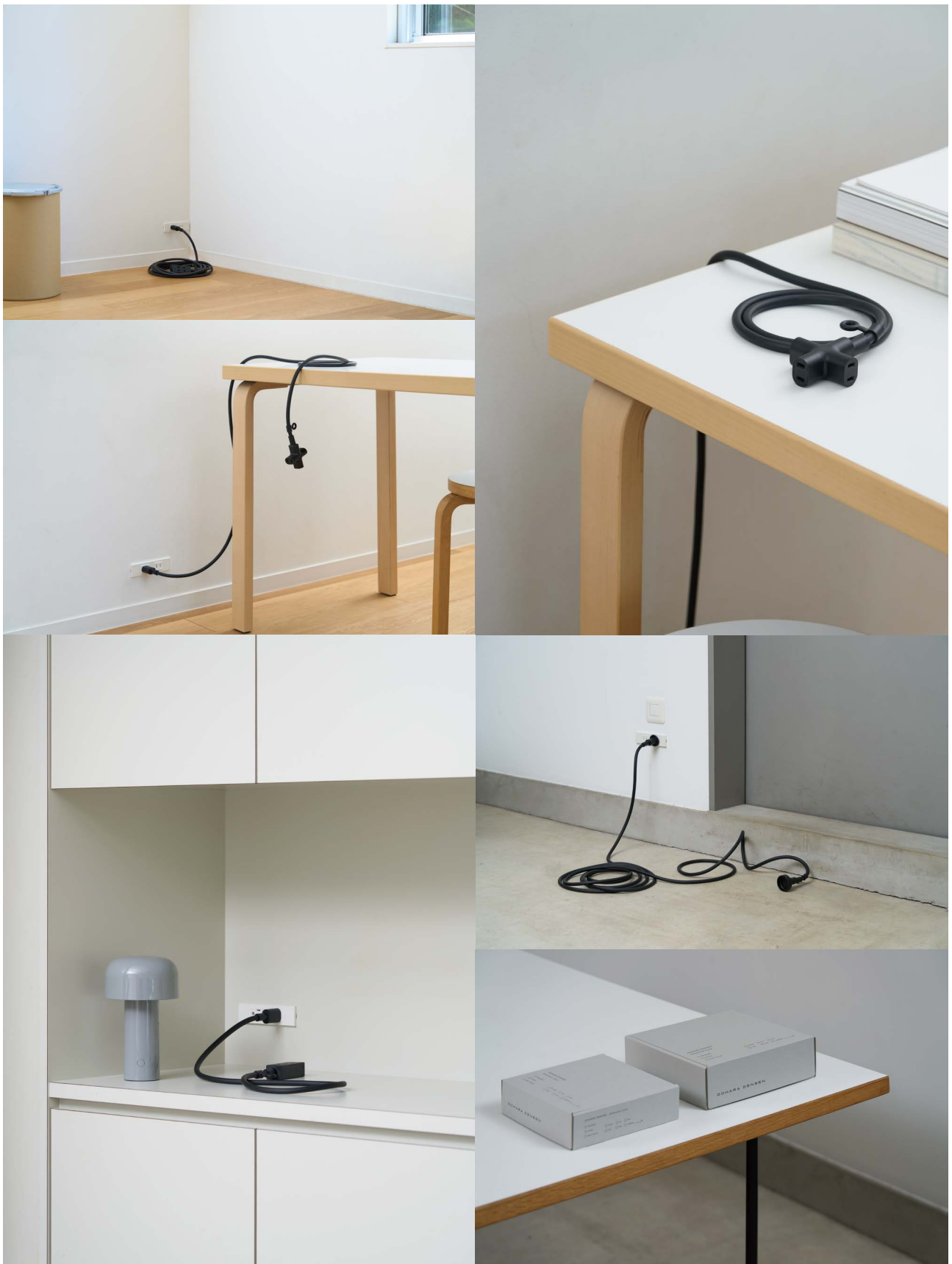


Photo by Studio Xxingham K.K.

本件に関するご質問、取材やお写真のお貸出し、掲載等に関するお問い合わせは下記までご連絡下さい。

[HOW INC.] 03-5414-6405 / pressrelease@how-pr.co.jp